

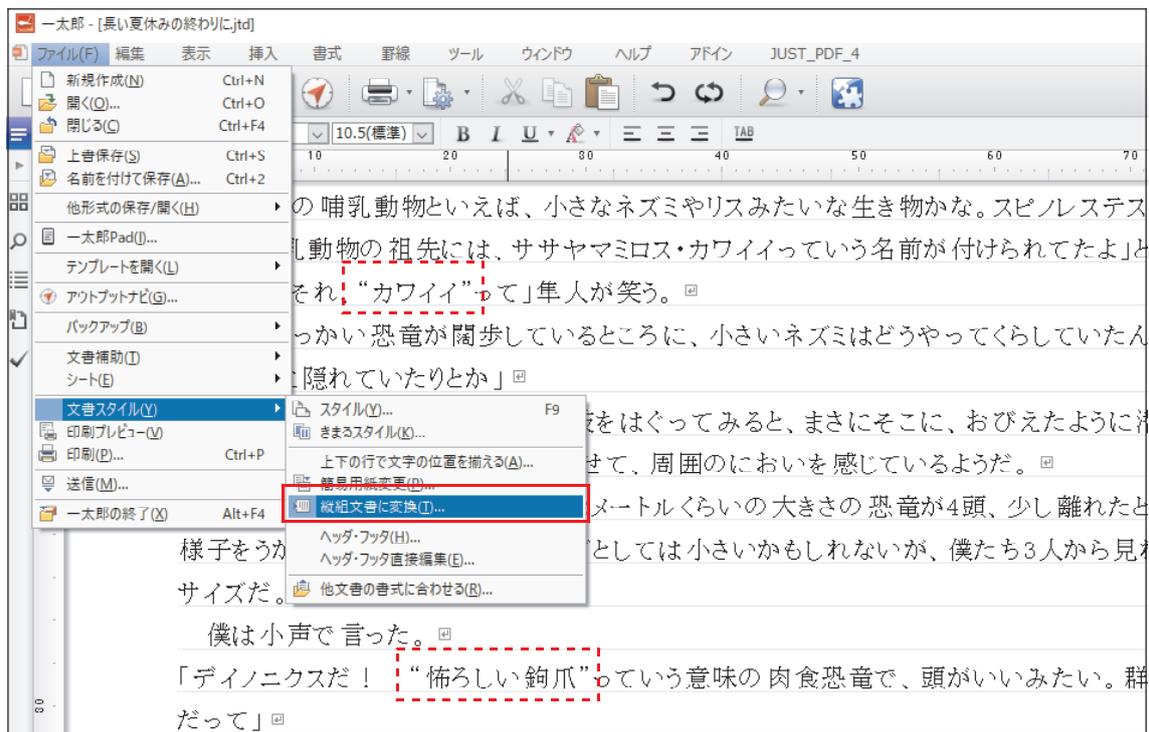
【一太郎 2020 編】

「”」を自動的に縦書き用に変換するマル秘テク

横組で作成した文書を縦組文書にする際、文書スタイルを「縦組」に変更する方法では、全角のダブルクォーテーション（”）を後から修正していくことになり、手間がかかります。

「縦組文書に変換」を利用すれば、縦書き用のダブルミニユート（”）に自動的に変換されるので、修正漏れも防ぐことができます。

1. 横組で作成した文書を縦組にします。「ファイルー文書スタイルー縦組文書に変換」を選択します。



2. [ダブルクォーテーション (“”) をダブルミニュート (“”) にする] がオンになっていることを確認し、[OK] をクリックします。

縦組文書に変換

以下のルールで文書の内容を縦組み向けの体裁に変換します。
指定した範囲のみ対象とすることもできます。

英文字を全角にする(A)
 URLを除く(U)
 (ー)記号は半角にする(Y)

半角の数字を変換する(N)
基本方法(K) 全角数字(1234)に変換
縦中横(T) 2桁の数字は縦中横にする

単位
 組文字にする(M)
 度(°)、℃、分(')、秒(")にする(R)

引用符
 ダブルクォーテーション (“”) をダブルミニュート (“”) にする(D)

半角カタカナは全角に変換されます。

OK キャンセル ヘルプ(H)

<http://www.justsystem.co.jp/OD-ROM>

↓

3. [用紙の向きを横方向に変更します。よろしいですか?] とメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。

一太郎

⚠ 用紙の向きを横方向に変更します。よろしいですか?

はい(Y) いいえ(N)

↓

3. 縦組になった文書内の「”」が、まとめて「\”」に変換されました。

